

令和7年度

お台場アカデミー

にじのはし幼稚園・お台場学園港陽小中学校が保育園・児童館等を含む
地域の方々と連携・協力し、一緒に子どもたちのよりよい成長を支えます。
～ 地域で育む子どもの成長 ～

お台場アカデミーの特色

目指す幼児・児童・生徒像

- ・感性豊かで思いやりのある子（徳）
- ・よく考え自ら学ぶ子（知）
- ・心身ともに健康でねばり強い子（体）
- ・お台場の地域を愛し、進んで地域に貢献する子（地域）

アカデミーの活動の重点

- 1 施設一体型の特性を生かした幼・小中一貫教育の充実及び保育園との連携を踏まえた特色ある教育を推進します。
- 2 お台場の地域性を十分に生かし、地域や関係機関との連携のもと、子どもたちのよりよい成長を支えます。

特色ある教育活動・身近な環境教育

お台場の海で学ぶ環境教育を、海辺つくり研究会、芝浦港南地区総合支所、東京海洋大学、船の科学館、お台場学園・にじのはし幼稚園保護者、地域関係者の協力のもと進めています。

5歳児は、海辺つくり研究会の方から、お台場の海の生き物について教えていただき、保育園児・1、2年生と一緒に地引網の活動に参加します。



3年生は、干潟の学習をします。
4年生はアマモについて調べ学習をします。



5年生は、中学生と一緒に海苔の養殖体験を通して、環境への考察と科学的思考を深めます。



中学生は、海でマイクロプラスチックを採集したり、実験をしたりしながら、海の環境学習を行います。



生徒会を中心に進めているお台場水族館について興味をもってもらうために、魚の紹介をしたり、クイズをしたりします。

学校運営協議会（CS）の活動

令和元年度より「コミュニティ・スクール」となり、「お台場アカデミー学校運営協議会」が発足しました。年8回の会議を開催し、学校と地域が協働して、子どもたちの豊かな成長を支えています。

「地域コーディネーター」の協力による英語検定・漢字検定の実施や夏季休業中のサマーワークショップの運営、職場体験等が行われています。



サマーワークショップ



職場体験



学校運営協議会

アカデミーの連携

お台場アカデミーでは、保・幼・小・中で学びの連続性を重視した教育を推進していくために、交流活動や、研究保育および授業、保・幼・小・中の教員による研究協議会を行っています。意図的・計画的な交流活動以外にも、子どもたちが自然に関わることができるよう、工夫しています。令和6年度は「自ら考え、主体的に学ぶ児童生徒の育成」（お台場学園）「体験や学びを支える環境の構成や教師の援助を探る～小規模園における異年齢交流を通して～」（にじのはし幼稚園）をテーマに研究を深めました。



保幼小連携の交流活動
（プレスクールⅠ）



ピオトープの小中共同管理
（合同環境委員会水質調査）



子どもの思いから始まる交流活動
（作ったおもちゃで遊ぼう）

意図的・計画的な交流活動



幼中連携の交流活動
（家庭科授業）



アカデミー意見交換

教員間の連携

お台場アカデミー 年間計画（令和7年度）			
4月	1年生を迎える会・新入生歓迎会 お台場アカデミー研究協議会①	11月	お台場プレスクールⅠ
5月	お台場アカデミー合同運動会 地引網体験	12月	9年生 家庭科授業「幼稚園実習」
6月	小中保健委員による園児への保健指導	2月	お台場学園作品展 お台場プレスクールⅡ
7月	中学校職場訪問	3月	お台場アカデミー研究協議会③
9月	お台場アカデミー研究協議会② 6年生による中学校体験授業 幼稚園児によるプール施設体験	通年	合同避難訓練 読み聞かせ活動
10月	学芸発表会		